

# 2019（平成31）年度予算案の概要 （子ども家庭局）

「子育て安心プラン」に基づく保育園等の受入児童数の拡大、「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」、「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」（新プラン）に基づく児童虐待防止対策及び家庭養育優先原則に基づく社会的養育の迅速かつ強力な推進、「すくすくサポート・プロジェクト」に基づく子どもの貧困とひとり親家庭対策の推進及び母子保健医療対策の強化などにより、子どもを産み育てやすく、子どもが健やかに育成される環境を整備する。

## 《主要事項》

### 第1 「子育て安心プラン」をはじめとした総合的な子育て支援

- 1 保育の受け皿拡大・保育人材の確保等
- 2 子ども・子育て支援新制度の実施
- 3 子どもを産み育てやすい環境づくり

### 第2 児童虐待防止対策・社会的養育の迅速かつ強力な推進

- 1 児童虐待の発生予防
- 2 児童虐待発生時の迅速・的確な対応
- 3 虐待を受けた子どもなどへの支援

### 第3 ひとり親家庭等の自立支援及びDV対策等の推進

- 1 ひとり親家庭等の自立支援の推進
- 2 配偶者からの暴力（DV）防止など婦人保護事業の推進

### 第4 東日本大震災からの復旧・復興への支援や防災対策等の強化

- 1 児童福祉施設等の災害復旧に対する支援（復興庁計上）
- 2 被災した子どもへの支援（復興庁計上）
- 3 児童福祉施設等における防災・減災対策の推進

## 《予算額》

(単位：億円)

会計区分	2018年度 当初予算額	2019年度 予算案	増▲減額	伸び率
一般会計	4,731	5,399	+668	+14%
東日本大震災復興 特別会計	1.3	1.5	+0.2	+16%

※ 数値は端数処理の関係上一致しないものがある。

### 2019（平成31）年度における社会保障・税一体改革による社会保障の充実（公費）

- ・子ども・子育て支援の充実 6,942億円 → 7,000億円（+58億円）
- 子ども・子育て支援新制度の実施（内閣府所管） 6,526億円 → 6,526億円（±0億円）
- 社会的養育の充実（厚生労働省所管） 416億円 → 474億円（+58億円）

※児童養護施設等の小規模かつ地域分散化や職員配置基準の強化を含む高機能化の推進による増

## 第1 「子育て安心プラン」をはじめとした総合的な子育て支援

「子育て安心プラン」に基づく保育の受け皿の整備やこれに伴い必要となる保育人材の確保など、待機児童の解消に向け意欲的に取り組む地方自治体を積極的に支援する。

また、妊娠期から子育て期にわたるまでの支援のため、子育て世代包括支援センターの全国展開に向けその設置促進を図るとともに、地域の実情に応じて、産前・産後サポート事業、産後ケア事業の実施を支援する。

### 1 保育の受け皿拡大・保育人材の確保等

(2018(平成30)年度当初予算額) (2019(平成31)年度予算案)

1,076億円 → 1,182億円

待機児童の解消に向け、「子育て安心プラン」に基づき、保育園等の整備を推進するとともに、保育を支える保育人材の確保のため、潜在保育士の再就職支援や保育士の更なる処遇改善等を実施する。

さらに、放課後の子どもの居場所の確保や、放課後児童クラブの育成支援の内容の質の向上を図るなど、放課後児童対策を推進する。

#### (1) 保育の受け皿拡大

- ・ 待機児童の解消に向け、保育の受け皿の確保を進めるため、補助率の嵩上げ(1/2→2/3)等の支援について引き続き実施し、保育園等の整備などによる受入児童数の拡大を図る。

(参考)【平成30年度第二次補正予算案】

○待機児童解消に向けた保育園等の整備

420億円

「子育て安心プラン」に基づく保育の受け皿整備等を進めるため、保育園等の整備に必要な経費を補助する。

#### (2) 保育人材確保のための総合的な対策【一部新規・一部拡充】

- ・ 保育士・保育園支援センターにマッチングシステムを導入することにより、潜在保育士等の保育人材のニーズに合わせた、よりきめ細かなマッチングを図る。
- ・ 長いブランクによる潜在保育士の職場復帰への不安を軽減するため、保育園等が潜在保育士を非常勤として試行的に雇用する際に行う研修等に要する費用などを補助する。
- ・ 保育園等の体制充実を図るため、チーム保育推進加算及び栄養管理加算を拡充する。(2019年10月実施)(内閣府予算)



















































